

# 第93回 箱根駅伝 予選会

2016年10月15日から新たな歴史の1ページが始まる。

～連続出場87回で途切れる～

第93回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝／2017年1月2・3日開催）の予選会が10月15日（土）に東京・立川市、陸上自衛隊立川駐屯地から国営昭和記念公園までの20キロのコースで行われ、中央大学は10時間17分01秒の11位に終わり、上位10校に与えられる本戦出場権を逃しました。10位の日本大学とは44秒差でした。中央大学が箱根路に戻る権利を得るためには1年後、この立川からとなります。



## 44秒の壁厚く・・・無念、箱根路に赤い襷運べず

順位	記録	大学名	順位	記録	氏名	学年
1位	10時間 08分 07秒	大東文化大学	15位	1:00:05	町澤 大雅 (法)	4年
2位	10時間 08分 17秒	明治大学	33位	1:00:34	相馬 一生 (文)	4年
3位	10時間 10分 09秒	創価大学	51位	1:00:58	堀尾 謙介 (経済)	2年
4位	10時間 10分 18秒	法政大学	99位	1:01:40	新城 佑加 (商)	4年
5位	10時間 11分 47秒	神奈川大学	110位	1:01:46	二井 康介 (文)	1年
6位	10時間 12分 12秒	上武大学	115位	1:01:52	舟津 彰馬 (経済)	1年
7位	10時間 12分 36秒	拓殖大学	144位	1:02:21	小池 竣也 (文)	4年
8位	10時間 14分 09秒	國學院大学	147位	1:02:23	渥美 良明 (経済)	4年
9位	10時間 14分 45秒	国士舘大学	157位	1:02:40	江連 崇裕 (経済)	3年
10位	10時間 16分 17秒	日本大学	159位	1:02:42	鈴木 修平 (法)	4年
11位	10時間 17分 01秒	中央大学	245位	1:04:05	竹内 大地 (法)	3年
			281位	1:04:47	蛭田 雄大 (経済)	3年

### 主将：舟津 彰馬

OBや学員のみなさまに対して、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。7月から主将に任命され、最初は戸惑いもありましたが、先輩方のサポートもあり徐々にチームが変わり、9月に行われた日体大記録会でも多くの選手が自己記録を出すなど、短い期間ではありましたが、チームが急激に良くなりはじめ、自信に満ちあふれた顔つきになったと思います。しかし、この結果で終わってしまったことは、実力が足らなかったと痛感しています。昔の中大は常にどのレースも中心になって走っていました。周りの大学を力でねじ伏せるためには、まだまだ力も努力も足りません。しっかり練習を積み重ねて、昔の強かった中大を取り戻していきたいと思っています。



### 堀尾 謙介

春先から怪我のため思うような練習が出来ていませんでしたが、夏の合宿から誰よりも練習を積んでいたの自信を持ってスタートラインに立つことが出来ました。15km地点までは調子良くレースを進められていましたが、ラスト3kmあたりから力が入らなくなり、タイムを稼ぐことが出来ず、改めて自分の弱さを感じました。来年は僕自身がチームを引っ張る走りをしなければなりません。中心選手として来年この悔しい気持ちを晴らすために、日本人トップを目指したいと思います。

### 町澤 大雅

自分の走りがまったく出来ず、悔しい気持ちでいっぱいです。また後半苦しくなってからの粘りも出来ず、18km以降は体も動きませんでした。エースとしてタイムを稼ぐ立場でしたので、周りのチームメイトを見る余裕がありませんでした。この11位という結果はすべて僕の責任だと感じています。悔しんでも泣いても取り返しのつかないことをしてしまい申し訳ない気持ちです。連続出場を自分たちの代で切らしてしまったことは一生背負っていくと思います。私の大学4年間は本当に悔いだらけです。出来ることなら最初からやり直したい気持ちです。



### 藤原 正和 駅伝監督

長年続けてきた連続出場を途切れさせてしまい、本当に申し訳ございませんでした。全日本大学駅伝予選会の惨敗からチームを変えるために舟津(1年)を主将に置き、チームを鼓舞してきました。夏合宿を終えたあたりでは予選会突破は難しい状況と感じていましたが、その後の1か月で急激にチームが良くなってきましたので、選手を信じてスタートさせられたと思います。44秒差の11位ですが、タイム以上に実力の差があったと実感しています。ただ、ここで途切れた襷を1年かけて取り戻さなければなりません。この悔しさを残された学生が頑張るのはもちろんのこと、私たちスタッフも原点に戻って指導していきたいと思っています。そして、再び必ず箱根路に立ちます。

### 花田 俊輔 コーチ

全日本大学駅伝予選会の惨敗からチームが変わり、とくに上級生が意識を変えてくれ本日を迎えてくれました。しかし、結果が11位とあと一步のところまで本戦出場を逃してしまいました。この日を忘れることはないと思います。いや忘れられません。この惨敗が次に繋がることを確信しています。そして、選手一人ひとりに、みなさまの期待に応えなければならない責任が芽生えたと思います。明日から次に向けて「一」から始めていきたいと思っています。



熱いご声援、誠にありがとうございました。



10月17日、関東学生陸上競技連盟より、第93回東京箱根間往復大学駅伝競走関東学生連合チームの選手・スタッフが発表され、監督に藤原正和駅伝監督、選手では堀尾謙介さんが選出されました。